

神協連ニュース

No.459 2019年10月4日

横浜市港北区新横浜2丁目6番地13
新横浜ステーションビル9階 〒222-0033
TEL 045-473-1031 (代表)
FAX 045-473-9272
Email:kccf@qf7.so-net.ne.jp
http://www.coopkana.jp

かながわ省エネ・再エネネット連絡会 学習会

世界はエネルギーの低炭素化に向けて、原子力ではなく省エネルギー化と太陽光や風力などの再生可能エネルギーを推進する流れが主流となっています。しかし、日本は福島第一原発事故を起こしたにもかかわらず、温室効果ガス削減には原子力発電が必要として、原子力発電を主要電力と位置づけ、原発再稼働や小型原発の開発、石炭火力発電所建設などを推し進めています。

今回は、エネルギーの効率化と自然エネルギー中心に転換していくことこそが脱炭素化、CO2排出ゼロへの道であることの戦略を(公財)自然エネルギー財団の大野輝之常務理事にお話いただきました。



- 日 時／2019年9月10日(火) 15:00～17:00
- 会 場／新横浜 オルタナティブ生活館 地下1階 スペースオルタ
- テーマ／脱炭素社会へのエネルギー戦略 ～2050年CO2排出ゼロの日本へ～
- 内 容／講演：「脱炭素社会へのエネルギー戦略」

講師 大野 輝之 さん (公財)自然エネルギー財団常務理事

報告：「生協の脱炭素ビジョンと再生可能エネルギーの取り組み」

講師 風間 志信 さん 日本生協連組織推進本部サステナビリティ推進部部长

核兵器禁止条約の採択から2年

ヒバクシャ国際署名をひろげよう 街頭アクション

2017年7月7日に国連で核兵器禁止条約が122か国の賛成を得て採択されました。これまで国際法で明確に禁止されることのなかった最後の非人道的大量破壊兵器である核兵器が「違法である」と認識され、世界は「核兵器のない世界」へ歴史的な一歩を踏み出しました。

神奈川県生協連は、神奈川県原爆被災者の会(丸山進会長)とともに「ヒバクシャ国際署名生協推進委員会」をつくり、「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶署名」に取り組んでいます。今回は、核兵器禁止条約採択2周年にあたり、全世界の市民と連携し、核兵器の全面的廃絶のための国際デーである9月26日に、私たちの願いである「地球上から核兵器をなくそう」を呼びかけました。

- 日 時／2019年9月26日(木) 13:30～15:00
- 会 場／JR桜木町駅前広場
- 参加者／80名
- 主 催／神奈川県原爆被災者の会、原水爆禁止神奈川県協議会、神奈川県生協連
- 内 容／ヒバクシャ国際署名のよびかけ/人間原爆展(パネルを持って平和のよびかけ)
- 寄せられた署名数／242筆

速報 ヒバクシャ国際署名 1,051万7,872筆に！

ヒバクシャ国際署名は累計で、1,051万7,872筆(2019年9月)となりました。

うち、神奈川は、81万8,373筆(神奈川県原爆被災者の会扱い:50万1,249筆、原水爆禁止神奈川県協議会:31万7,124筆)です。署名を寄せて下さった皆さま、ありがとうございます。署名は10月上旬、日本被団協の藤森俊希事務局次長とヒバクシャ国際署名連絡会事務局の鈴木慧南さんがニューヨークの国連本部を訪れ、軍縮などを議論する委員会の議長へ提出します。署名は、2020年9月まで、核兵器の廃絶を願い続けられます。最後まで、力を尽くしましょう。核兵器禁止条約の早期発効を！



第2回 学習会「憲法について考えよう」

生協は消費者を会員とする組織であり、普段の暮らしに役立つ事業と活動を展開しています。消費者・市民として暮らしについて考え、判断し、行動する人を育むことを大切にしています。従ってこれまで、さまざまな問題について学び、考える場をつくることを支援し、それを通して組合員が自分としての考えを持つことに努めてきました。憲法の問題についても、主権者である私たちがしっかり判断できるように学習活動を進めることは、大変重要になっています。

今回の学習会では、講師の小熊さんより、「私たちにとって憲法はどんな意味があるのか」「生協がこれまで大切にしてきたこと 生協と憲法はどんな関係があるのか」「憲法をめぐる最近の動き」についてことをお話して頂き、更にグループ交流で深めました。

■ 日時／2019年9月25日(水) 14:30～16:30

■ 会場／オルタナティブ館 3階 301

■ 参加／12団体、33名

■ 主催／神奈川県生協連・組合員活動委員会

■ 内容

講演とグループ交流

講演：「憲法について考えよう」

講師 小熊 竹彦 (公財)生協総合研究所 理事・事務局長

グループ交流：(4グループに分かれて意見交流)



(企組)ワーカーズコープ・キュービック 3回目のSDGs研修会

ワーカーズコープ・キュービックは1990年3月に組合員の仕事起こしを掲げて誕生した協同組合の仲間です。

研修は、講義やグループワークを通してSDGs(持続可能な開発目標)の理解を深め、未来の社会のありたい姿にもまなざしを向けながら、自分や自分たちの所属する組織の役割を考え、どのようにして「誰一人取り残さない」社会を実現していくか考えるものとして企画されたもので、キュービックとしては3回目。神奈川県生協連では、今回で12回目(うち会員生協外は6回目)のSDGs研修支援となりました。

SDGsは、「誰一人取り残さない」が理念。貧困・飢餓・気候変動など人類・地球全体が直面する深刻な問題を解決し、「持続可能」な世界を実現するために、市民や行政、企業等世界中のすべての人が一丸となって、関わり取り組んでいくものです。

誰一人取り残さないためには、私たち一人ひとりにとっても他人事にはなりません。

■ 日 時／2019年9月10日(火) 11:00～13:00

■ 会 場／神奈川県生協連 会議室

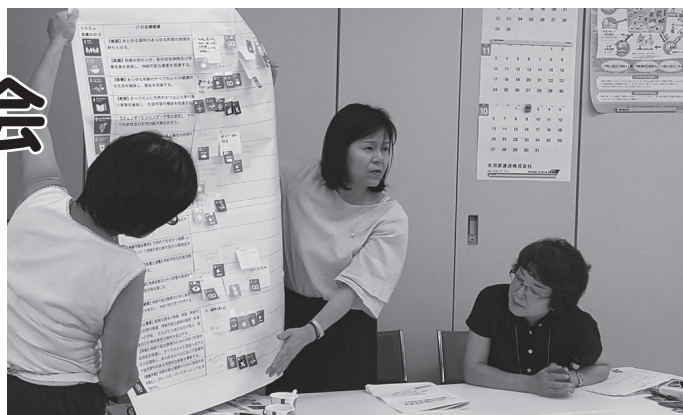
■ 主 催／(企組)ワーカーズコープ・キュービック
(平尾弘子理事長)

■ テーマ／SDGsと協同組合

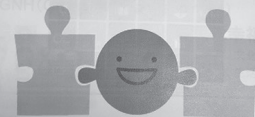
～私たちの活動に引き寄せて～

■ 講 師／石田 昌美 神奈川県生協連 統括マネージャー

■ 参加者／21名



誰も置き去りにしない





神奈川まるごと健康づくり

- ☆「健康」はすべて人の願いです。フレイルを予防するための重要なポイントは「栄養(食・口腔機能)」「運動」「社会参加」です。年に一度は検診を受診し、結果を受けて改善の目標を作り、実践し、また翌年、検診を受診するという「健康のサイクルに取り組む」ことは健康づくりの土台です。「健康チェック」「健康チャレンジ」をこのサイクルの中で役立てていきます。
- ☆医療福祉生協の8つの生活習慣と認知症予防などの項目を基本にしながら、健康づくりに取り組み、健康寿命を伸ばすさまざまなきっかけづくりを行います。
- ☆生協や協同組合はもちろんさまざまな団体と連携を深め、世代を超えて楽しく健康づくりに取り組める場をたくさんつくり、神奈川まるごと健康づくりをめざします。
- ☆神奈川まるごと健康づくりは、組織の枠を超えたつながりづくり、生協自身の健康づくりにもつながっています。

2019 健康チャレンジ

健康づくりは、思っているよりなかなかききかけがないと始めないもの。ぜひ、この機会にいかがですか。いつも出来ていないことを一つ「これをやろう、がんばろう」と決め、10月・11月の間に30日以上取り組んでみましょう。

ウェブ版は、神奈川県生協連の <https://coopkana.jp/> にバナーが貼ってありますので、そこから入ってください。



QRコード

頑張っ取り組め、提出されると、素敵なプレゼントがあります。

組合員による健康づくり・健康チェック

★寺尾台店(川崎市多摩区) 9月15日(日)

- 健康チェック参加／45名
新規21名：男3名(69歳～83歳)
女18名(56歳～87歳)
再24名：男7名、女17名
- 測定運営／12名



★白幡店(横浜市神奈川区) 9月22日(日) 初回

- 健康チェック参加／17名
新規17名：男7名(27歳～88歳)
女10名(27歳～81歳)



人づくり 健康づくりリーダー養成講座

★福祉クラブ生協 9月24日(火)

- 修了者／17名(男7名、女10名) 福祉クラブ生協(理事、組合員、職員)
- 講師／石田 昌美 神奈川県生協連 統括マネージャー



2019年度神奈川県生協連 役員視察研修

神奈川県生協連では、全国の先進生協・地域などの事例に学び、今後の事業や活動に生かすことを目的に、会員生協役員による視察研修を毎年実施しています。2019年度は熊本を訪問して、地震から3年5カ月がたった今を見て学ばせて頂きました。ご対応をいただきました熊本の皆さまに感謝申し上げます。

■ 日 程／2019年9月20日(金)～9月21日(土)

■ 参加者／9生協 17名



■ 内 容／

<1日目>

熊本地震で生協が対応できたこと、対応できなかったことを学ぶ

★熊本大学生協が熊本地震で取り組んできたことを学ぶ

司会 熊本県生協連 専務理事 木下 孝彰さん

生協くまもと 代表理事 理事長 嶋田 誠さん

生協くまもと 代表理事 副理事長 迫 和久さん

★生協くまもとの事業と活動を学ぶ

熊本大学生協 専務理事 竹山 英紀さん

<2日目>

★生協くまもと コープ春日見学

生協くまもと コープ春日 店長 山本 熊一郎さん

熊本県生協連 専務理事 木下 孝彰さん

※コープ春日は、安心して暮らせる地域の基地として、防災井戸、かまどベンチ、マンホールトイレを備えています。

★熊本城の見学

(現地ボランティアガイドさんについて60分の見学)

★仮設住宅、崩落した阿蘇大橋を見学

生協くまもと 代表理事 副理事長 迫 和久さん



ゲノム編集技術に関する意見交換会

関東農政局消費・安全部は、神奈川の消費者団体と「ゲノム編集技術を利用して得られた食品等に関する意見交換会」を開催しました。

いわゆる「ゲノム編集技術」は、近年新たな育種技術として注目されており、この技術を用いて品種改良された農作物等が開発され、食品として流通し得る段階を迎えています。消費者が安心・安全に暮らすために、商品やサービスを自主的、合理的に選べる環境を整えることは、消費者庁の役割です。また、自らの商品に関する情報を把握し、消費者に正確に伝えるのは、食品業者の当然の社会的責任です。

今回の意見交換会では、行政側から情報提供を行い、その後、参加者とグループで意見交換が行われました。最後に全体での共有化のために各グループから報告を受けました。異口同音に出たのは、表示を求める意見でした。



■ 日 時／2019年9月5日(木) 13:30～16:00

■ 会 場／横浜第二合同庁舎 3階 関東農政局神奈川県拠点 会議室

■ 主 催／農林水産省関東農政局消費・安全部消費生活課

■ テーマ／①ゲノム編集技術とは ②ゲノム編集技術応用食品の表示のあり方について

■ 参加者／行政関係を含め55名

■ 内 容／学習

「ゲノム編集技術を利用して得られた生物に係る取扱方針(環境省公表)を受けた 農林水産省の対応について」

高島 賢 農林水産省 消費・安全局 農産安全管理課 審査官

「ゲノム編集技術応用食品の表示の在り方について」

蓮見 友香 消費者庁 食品表示企画課 課長補佐

グループ討議とグループ発表

生協大会お知らせ

神奈川県生協大会では、地域活性化のヒントとなる「一人ひとりが大切にされる社会づくり」を協同組合の価値＝「連帯と協同＝支え合い・助け合い・お互いさま」から、深めます。

◇日 時／2019年10月23日(水) 10:00～13:00

◇会 場／ワークピア横浜 横浜市中区山下町24-1

◇参加費／無料

◇基調講演／「一人ひとりが大切にされる社会を」

講師：稲葉 剛 さん

